



記者発表資料

令和6年1月9日
復興庁

令和5年度「新しい東北」復興・創生の星顕彰の選定結果について

復興庁では、東日本大震災の被災地において、人口減少や産業空洞化などの全国の他地域にも共通する課題等の解決に取り組み、魅力あふれる「新しい東北」の創造に向けて貢献されている方を顕彰する「新しい東北」復興・創生の星顕彰を実施しています。本顕彰は、平成28年度から実施しており、今年度で8回目になります。

このたび、応募総数123件の中から、外部有識者による選定委員会を経て、令和5年度「新しい東北」復興・創生の星顕彰10件を選定いたしました。受賞者については、別紙をご参照ください。

なお、顕彰式は2月11日（日）に開催する予定です。

1. 令和5年度「新しい東北」復興・創生の星顕彰の選定結果

応募件数：123件

受賞者：10件

選定委員：田村 太郎（一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事・復興庁復興推進参与）

西山 志保（立教大学 社会学部 社会学科 教授）

宮川 晓世（株式会社日本政策投資銀行 地域調査本部 地域調査部長）

柳井 雅也（東北学院大学 地域総合学部 地域コミュニティ学科 教授）

（五十音順・敬称略）

2. 顕彰式について

日時：令和6年2月11日（日）14:30～16:00（予定）

場所：仙台サンプラザ（予定）

3. 配付資料

【別紙】令和5年度「新しい東北」復興・創生の星顕彰 受賞者一覧

4. 参考

令和5年度「新しい東北」復興・創生の星顕彰HP

<https://www.newtohoku.org/kenshou/index.html>

【本件連絡先】

復興庁 復興知見班 浦山、武市

TEL：03-6328-0223

令和5年度「新しい東北」復興・創生の星顕彰 受賞者一覧

【岩手県】

団体名 株式会社 北三陸ファクトリー	増殖溝を活用したウニ育成の仕組みを「うに牧場」としてブランド化。磯焼けにより実入りの悪いウニの再生養殖や藻場再生の取組を実施。オーストラリアでの現地法人の開設などグローバルに活動。	
団体名 夢団～未来へつなげる ONE TEAM～ 【所在地】 岩手県釜石市	2019年のラグビーW杯開催を機に釜石市の高校生有志で立ち上げた防災活動グループ。語り部のみならず、防災食や防災ゲームの考案や防災イベント等で地域外の高校生との防災交流を行う。	

【宮城県】

団体名 一般社団法人 SEAWALL CLUB	石巻市雄勝町で、巨大な防潮堤に雄勝の風景等を描き、雄勝の魅力を伝えるアートプロジェクトを実施。石巻市との共催事業として「海外線の美術館」を開館。	
団体名 株式会社ロスゼロ 【所在地】 大阪府大阪市(取組は宮城県気仙沼市)	食品ロス削減と地域の魅力再発見を目指し、気仙沼市のNPO法人や農家等と連携し、廃棄されていた規格外のいちごをアップサイクル商品化。百貨店で販売する他、ふるさと納税の返礼品に採択されており、販路を拡大。	

【福島県】

団体名 浅野撚糸株式会社 【所在地】 岐阜県安八町(取組は福島県双葉町)	岐阜県で撚糸業を営む会社が、双葉町長の言葉に動かされ、双葉町にショッピング、カフェ併設の新工場「フタバースーパーゼロミル」を開設。地元の雇用促進、産業観光促進を通じた地域振興の取組を行う。	
---	--	---

団体名 一般社団法人 葛力創造舎	人口が大幅に減少した葛尾村において、地域資源を用いた持続可能な地域づくりを行う。地域を担う次世代人材を育成する「葛力創造塾」の実施、アーティスト移住・定住事業など、多様な活動により葛尾村との関係人口づくりを推進。	
団体名 特定非営利活動法人 元気になろう福島	福島県の地域活性化を図る目的で設立。自主避難者向けの移住・ホームステイの仲介や川内村での帰村・移住定住者支援、福島の魅力を台湾に伝える事による風評払拭・交流拡大のプロジェクトを実施。	
団体名 一般社団法人 とみおかプラス	富岡町を「誇れる町」「魅力ある町」にしたいという目的で設立。移住定住促進のための「とみおかくらし情報館」の運営等を実施。また、県内の酒造会社との連携により富岡町産米の日本酒を製造販売。	
団体名 株式会社孫の手	原発事故の風評被害の支援として、地元の生産者の食材を使ったレストランを運営。	
【所在地】 福島県富岡町	加えて生産者の畑に出向いて、料理を味わうフードキャンプ事業を展開。	
団体名 株式会社マルリフーズ	震災により、アオサの養殖棚がほとんど流された中、事業再開。独自の洗浄技術や放射線測定など安全・安心で高品質なアオサを生産。2023年10月には原発事故後福島県産水産品として初となるEU・欧州連合への輸出を実施。	
【所在地】 福島県相馬市		

※ 都道府県別、五十音順



「新しい東北」 復興・創生の星顕彰

令和
5年度

候補者推薦募集

被災地の課題解決に挑戦する
個人や団体の推薦を募集。
優れた取組を
復興大臣が顕彰します。

— 推荐期間 —
令和5年
6月1日 木
▼
8月1日 火

推薦要項

■主旨

復興庁では、復興を単なる原状復帰にとどめるのではなく、震災を契機として、従来から被災地が抱えてきた課題を克服し、地方創生のモデルとなる「新しい東北」を創造すべく、民間の人材・ノウハウ等を最大限活用しながら、様々な取組を進めています。

この一環として、「新しい東北」の創造に向けた取組について、大きな貢献をされている個人及び団体に光を当てることにより、その活動を広く情報発信するとともに、被災地内外への普及・展開を図るために平成28年度から顕彰を行っています。

■推薦方法

令和5年度「新しい東北」復興・創生の星顕彰候補者推薦募集ページ
(<https://www.newtohoku.org/kenshousuisen/R5suisen/index.html>)
の候補者推薦フォームより推薦ください。

■顕彰の発表と顕彰式

外部有識者から構成される選定委員会にて受賞者の選考を行い、
結果を令和6年1月に発表予定です。
その後、令和5年度中に実施予定の顕彰式にて、受賞者に復興大臣賞
として賞状と盾が授与されます。

■推薦期間

令和5年6月1日(木)～8月1日(火)
(資料を郵送される場合は8月1日(火)必着)

■送付先(お問い合わせ先)

「新しい東北」復興・創生の星顕彰運営事務局
住所：〒107-0052 東京都港区赤坂4-10-21八幡ビル101
(株式会社ヒューマンメディア内)
TEL：03-5544-9712 FAX：03-5544-9714
メールアドレス：newtohoku@humanmedia.co.jp



■ 推薦対象

推薦対象は、「新しい東北」の創造に向けて、被災地の地域課題（被災者支援、住まいとまちの復興、協働と継承、産業・生産の再生等）を克服するために取り組む個人・団体とします。若年層による新しい取組についても積極的な推薦をお待ちしています。

被災地の地域課題を解決する取組（例）

- ・子どもや高齢者を含めた被災者の交流会の実施、災害公営住宅等における自治会活動の支援
- ・防災集団移転事業の移転元地における賑わい創出の取組
- ・産業の転換や新しい市場・価値を創造する取組
- ・雇用創出や若者の就業・後継者育成を推進する取組
- ・避難指示解除区域への帰還等に向けた生活環境整備への取組
- ・震災時の記憶と教訓を生かし、貴重な防災ノウハウとして地域内外に広く情報を発信する取組
- なお、推薦対象が法令違反の容疑により逮捕され、又は逮捕を経ないで公訴を提起された場合などの不正又は不誠実な行為があった場合は表彰の対象としないことがあります。また、暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年 法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員をいう。）の者が関与している取組、暴力団の維持もしくは運営に協力し、もしくは関与する取組は、審査対象から除外します。またその旨の連絡もしませんので御了承ください。

■ 推薦対象の条件

- ① 推薦される個人・団体は、次の事項を満たしている必要があります。
- ア.個人・団体は、少なくとも直近1年間（令和4年8月～令和5年7月）において、課題に取り組むべく活動を行っており、今後も継続して活動していく予定にしていること。
- イ.ある取組に対し、複数の個人・団体が関与している場合、当該取組において、推奨する個人・団体が中心的役割を果たしていること。
- ウ.個人・団体は、過去に復興庁が主催する表彰・頭影（「新しい東北」復興・創生頭影、「新しい東北」復興・創生の星頭影、「新しい東北」復興ビジネスコンテスト、「産業復興事例」頭影等）により、表彰・頭影されていないこと。
- エ.個人・団体は、国・地方公共団体及びその職員ではないこと。
- ② 推荐される個人・団体の取組は、次の事項を満たしている必要があります。
- ア.東日本大震災または東京電力福島第一原発事故をきっかけとして発生した課題を克服するための取組であること。
- イ.施設整備等のいわゆるハード面の取組でないこと。

■ 選定方法

運営事務局で一次選考を行った後、外部有識者から構成される選定委員会にて二次選考を行い、受賞者を決定します。

選考は原則、提出書類による書面審査としますが、必要に応じて電話等で内容の確認をさせていただく場合があります。

受賞者には、応募の際に登録されたメールアドレス等にご連絡します。

個人情報の取り扱いについて

推薦の際に候補者推薦フォームに記載された個人情報は、本頭影の審査及び運営に必要な範囲内で利用し、応募者の同意なく利用目的以外で利用することはありません。また「注意事項」に定める場合を除き、推薦者及び推薦された個人・団体の同意なく、第三者へ提供することはありません。

■ 選定基準

取組内容については、以下の2つに分野を設定します。

A 被災者支援、住まいとまちの復興、協働と継承

B 産業・生産の再生

発災12年が経過した現在、以下の4つの視点を重視します。

- ①復興の進捗に応じた課題に対応しているか。
- ②自立性・自走性があるか。
- ③全国共通の課題解決に向けた先駆性・応用可能性があるか。
- ④新規性・将来性があるか。

A・B2つの分野について、4つの視点から、選定にあたって重視する、対応されている課題やポイントを次のとおり設定して、推薦資料等をもとに総合的に選定します。

視点	分野A	分野B
①	<ul style="list-style-type: none"> ・心のケア・コミュニティ形成 ・移転元地等の活用 ・帰還等に向けた生活環境整備 ・震災伝承・教訓継承 	<ul style="list-style-type: none"> ・水産加工業の振興 ・観光業の振興 ・風評対策への取組 ・福島イノベーションコラボの促進
②	<ul style="list-style-type: none"> ・人的・財政的基盤 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスモデル
③	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の拡大、地域との連携・協働、SDGs、女性活躍 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出、域内循環創出（複数企業の協働化等を含む）、SDGs、女性活躍
④	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな手法の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな研究投資・新分野進出の挑戦

■ 推荐手続

① 推荐方法

推薦は、自薦・他薦を問いません。他薦の場合は、推薦する個人・団体の同意を得るものとします。

② 提出書類等

応募に当たっては、本頭影WEBサイトまたは別添の候補者推薦フォーム内の必要事項をご記入の上、事業報告書、パンフレット等の取組の内容、状況が把握できる資料を併せてご提出ください。資料は候補者推薦フォームからアップロードが可能です。

候補者推薦フォームが使用できない場合は、事務局までFAXまたは郵便でお送りください。

● 注意事項

- (1)提出書類等は返却しませんので、あらかじめ御了承ください。
- (2)本頭影に関する情報発信の一環として、マスコミ（新聞社、放送局等）に対し、受賞者の個人・団体名、取組内容を情報提供しますので、あらかじめ御了承ください。
- (3)頭影式後、「新しい東北」官民連携推進協議会ポータルサイト（<https://www.newtohoku.org/index.html>）などにおいて、受賞者の取組内容をより詳細に紹介するため、受賞者に対して直接取材を行うことがあります。ご協力をお願いします。
- (4)審査に関する問い合わせには一切応じられません。審査結果は公表をもって代えさせていただきます。

「新しい東北」復興・創生の星顕彰 受賞者一覧（市町村/テーマ分類）

平成28年度～令和4年度 ※令和2年度までは復興・創生顕彰

県	市町村	テーマ			
		被災者支援	住まいとまちの復興	産業・生産の再生	協働と継承
岩手	釜石市	寺崎 幸季 氏 (H28)	釜石〇〇会議実行委員会 (H29) 三陸ひつなぎ自然学校 (H30)	釜石市中子地区活性化協議会 (R2)	
	大船渡市	焼場所創造プロジェクト (R元) おはなしごりりん (R3)	キャッセン大船渡 (R3)	wiz (H28) 三陸とれたて市場 (R4)	大船渡津波伝承館 (H29)
	陸前高田市		マルコト陸前高田 (H28) SET (H30)		接続311 (R3)
	宮古市		みやっこベース (R4)		宮古工業高等専修学校 (H30)
	大槌町				大槌新聞社 (R元)
	野田村	チームゼリース (R2)			
	花巻市	まんまるママいわて (R2)			
	遠野市			遠野まごころネット (H29)	
	盛岡市			幸野来Japan (R4)	
	田代沢村				体験村・たのはたネットワーク (R4)
宮城	気仙沼市		ベンターン女子 (R元) 鹿折まちづくり協議会 (R2) まるオフィス (R3)	観光チーム気仙沼 (H29) インティゴ気仙沼 (R3)	
	石巻市	姫さんさんグループ (H29) 日本カーシュアリング協会 (H29) TEDIC (H30) 石巻復興支援ネットワーク (R元) イシノマキ・ファーム (R2)	ISHINOMAKI 2.0 (R元)	ピッシャーマン・ジャパン (H28) 岩組 (R3) 木の屋石巻水産 (R4)	小林 式史 氏 (R2)
	仙台市	ボラリス (R元)		やまととファームみらい野 (R3)	
	南三陸町	復興みなさん会 (R2)			南三陸ホテル鶴洋 (H30) 南三陸町観光協会 (R4)
	女川町		小林 洋介 氏 (H28)		
	仙台市	つながりデザインセンター (H30)		ReRoots (H30) 日本航空 (R2) アンデックス (R4)	
福島	南相馬市	あさがね (R2)	オムスピ (R4)	小島ワーカーズベース (H28) テラ・ラボ (R3)	
	いわき市		TATAKIAGE Japan (H28) ザ・ビーブル (H29) 勿来まちづくりサポートセンター (R2)		
	双葉町	夢ふたば人 (R元)		Jin (H30)	
	浪江町				
	高岡町			かつらお胡蝶蘭 (R3)	双葉町未来会議 (R3)
	猪谷村			渡辺 正 氏 (H28)	
	川内村				
	相双相馬	精神科医療保険福祉システム (H29)		がんばろう福島、農業者等の会 (R元)	
	二本松市	しんせい (R元) 女子の暮らしの研究所 (R2)		ふくしま連鎖ワイナリー (H30)	
	郡山市				
	猪苗代町	ピーンズみくしま (H30) 児童養護施設の子どもの健康会 (R3)			
	川俣町		ならはみらい (R4)	Smile farm (R4)	
	相馬町				
	東白川村			高校生ふくしま食べる通信 (H28)	
茨城					グーグル合同会社 (H28) 味の素ファンデーション (H29) きっかけ食堂 (H29)
	計 71 団体・個人	20 団体・個人	16 団体・個人	23 团体・個人	12 団体・個人